

2024年度（令和6年度）第2回定時理事会（議事録）

2024/12/10修正

〔1〕開催：2024年9月25日（水）09時00分～17時40分

- ・会議形式：実会議とインターネット・ウェブ会議（ZOOM）併用
- ・実施会場：Japan Sport Olympic Square14階/オンラインzoom

〔2〕出席（理事26名、監事2名）：

岩城光英、仲井公哉、大塚眞一郎、岸田吉史、鈴木貴里代、村瀬訓生（14：25時入室）、山根英紀、関根明子、菊池日出子、森幸、齋藤れい（16：00分退室）、中山俊行、伊藤一博、川添勝、島津寿江、北村格一、須山浩光、村上幸生、池淵功寛、以上理事19名会議室出席

山倉紀子（12：10退室）、富川理充（10：37退室、13：40再入室）、的場美友紀、豊岡正康、小田英男（10：10入室）以上、理事5名オンライン出席

荻原政吉（会場出席）、秋山智昭（オンライン出席）、以上監事2名

中山正夫（会場出席）、以上事務局顧問1名

坂田洋治、児玉健太、長江千明、大岩葵、内藤裕也、秦絵莉香、萩原舞、以上事務局7名出席

〔3〕議事の経過

JTU定款第6章（理事会）第34条（決議）により、進行役の児玉事務局次長から、オンライン参加の諸注意と、本日の理事会は二部制となり、第一部ではパリオリンピック・パラリンピックの総括と今後の強化体制編成方針などを議案とし、オリパラ双方の選手、ハイパフォーマンスチームスタッフ、各専門委員長がオブザーバーとして出席することなどの説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。

定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、定款第35条（議事録）により、岩城会長、荻原監事を議事録署名人、大塚専務理事、島津理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名した。

〔4〕決議事項

第1号議案1）パリ2024オリンピック・パラリンピック総括

標題について、富川理事および山根理事からそれぞれ説明があり、質疑応答が行われた。その後、議長である岩城会長が本大会の結果に対する責任について理事会の審議を求め、自ら一時退席した。再び質疑応答が行われ、議長が席に戻って賛否を求めたところ、満場一致で承認可決された。

- ・承認事項1）パリ2024オリンピック・パラリンピック総括

・説明骨子1）大会結果、目標達成に向けたマイルストーンと目標に対する結果のレビュー、取組方策、戦略の実行状況と評価など成果と課題について報告された。

- ・承認事項2) 会長含め業務執行理事体制の継続
- ・主要意見) パリオリンピック・パラリンピックの結果は、東京大会でのパラリンピックでのメダル獲得には及ばなかったが、選手の総合的な支援管理体制に不備があったことは認められず、岩城会長においては次回オリンピックでのメダル獲得への成果に向け、体制構築を推進してほしい。

第1号議案2) 今後の強化体制編成方針

標題について、議長及び児玉事務局次長から説明があり、質疑応答の後に、仲井副会長が本件対象者のため利益相反となり一時退席を要請した。再び質疑応答が行われ、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 強化本部の設置、強化本部長の選任
- ・説明骨子)
 - ・強化本部（仮称）の設置し2025年1月から新体制をスタートさせる。トライアスロン、パラトライアスロン・マルチスポーツ、リージョン、ファウンデーションのチームを統括した本部とする。
 - ・強化本部長に仲井公哉副会長を配置し、各種目のヘッドコーチを10月中に確定させ、目標・戦略方針・人員体制・事業計画を12月理事会で提案をする。

第2号議案) 前回議事録

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2024年度（令和6年度）臨時理事会（7/11）議事録（案）

第3号議案) 危機管理事象

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 倫理委員会提案事案（ハラスメント関連の処分）

承認事項骨子)

処分の内容：注意、教育的指導

処分対象行為：ハラスメント行為

処分対象者：公認指導者

処分の根拠：JTU倫理コンプライアンス規程 第3条（3）「身体的および精神的なセクシュアル・ハラスメントやパワーハラスメント等、性的言動や表現によって相手に不快感を与える行為を行ってはならない。また、指導的立場にある者は、その権威を利用し、不適切な行動や強要をしてはならない」に該当

第4号議案) 組織関連

標題について、児玉事務局次長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 法人名称の変更方針

・説明骨子：2019年3月移行のコミュニケーションネームとして、関連制作物にTriathlonJapan名称にて従来名称と併用し露出を行ってきた。30周年を契機に、法人名称の変更手続きを行う。

変更時期：2025年6月定時社員総会

法人名称の変更（和文案）：公益社団法人トライアスロンジャパン

法人名称の変更（英文案）：Triathlon Japan

略称：「TJ」「TRIJ（またはTrij）」「TRJ」等

ロゴ：調整中（2024年12月～2025年3月理事会で決議）

・承認事項2) 顧問、名誉副会長 関連

標題について、坂田マーケティング事業局長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 顧問、名誉副会長の変更

・新規) 顧問・山村雅之（元NTT東日本代表取締役社長）

・今年8月に逝去された佐々木秀幸名誉副会長（元・日本トライアスロン連合理事長）

と中島清成顧問（元・日刊スポーツ新聞社顧問）について会の初めに黙祷を捧げた。

第5号議案) 大会事業関連

標題について、坂田マーケティング事業局長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 2025国内開催国際大会リスト案（9/25現在）

承認事項2) 2025アジア派遣TD/ATDの推薦方針案

承認事項3) 2025公募大会（案）会場の決定

- ・日本スプリントトライアスロン選手権：青森国スポリハーサル大会として開催
- ・日本U23トライアスロン選手権：日本トライアスロン選手権と併催
- ・日本U23スプリント選手権・U19選手権：長良川国際トライアスロンでの開催
- ・全国高等学校トライアスロン選手権：東京海の森開催
- ・日本アクアスロン選手権：東京海の森開催

承認事項4) 2025年度国内・国外大会開催予定一覧（2024年9月24日現在）

承認事項5) 大会開催におけるリスク管理の方針（審議委員、主催大会における意思決定のプロセス、キャンセルポリシー）

説明骨子）

・審議委員：オリンピック競技と WTCS ファイナル(エリート)を除く全ての TRI 大会では、審議委員会は以下の3 名で構成される。審議委員の選出にあたっては、事前にモジュール(資格認定)の確認が必要となる。

1. 審議委員会議長である技術代表またはアシスタント技術代表

2. TRI の理事または委員会委員、もし不参加であればコンチネンタル競技団体の理事 または委員会委員、スタッフ、もし不参加であれば主催する NF の代表

3. 主催 NF の代表

・JTU主催大会における開催可否判断の意思決定プロセスに競技団体理事会任命の担当理事を配置し、競技の中止と延期の決議において、危機管理・リピテーションリスクなどを考慮して理事会として意思決定できる手順を設ける。

・キャンセルポリシー

主要意見) キャンセルポリシー内の期日については各大会の判断によるが、JTUとして一定の期日を明示する必要がある。

承認事項6) 重点事業の方針

説明骨子)

・横浜大会2029年WTCSグランドファイナル開催へのロードマップ、プロジェクトチームの結成、課題感の共有など

・アイアンマンみなみ北海道 2024初回大会の開催報告、次回大会までの課題の共有

・第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋) トライアスロン会場は蒲郡に内定

第6号議案) 国際関連

標題について、児玉健太事務局次長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) ワールドトライアスロン(IF)役員選挙(追加推薦)

女子委員会推薦: 秦絵莉香

(議事の終了)

オンライン出席者に対し、通信上の不備等がなかったことを確認した後、議事を終了し報告事項へ移行

[6] 報告事項

報告事項1) 30周年記念事業(式典、功労賞)

・式典概要: 2024年11月17日(日) 17時-19時 グランドニッコー東京台場

・功労賞基準案

報告事項2) 法人化関連(長崎県の事例共有など)

・法人化状況(2024年9月24日時点) 25団体

・長崎県の法人事業税免除事例の共有

報告事項3) 都道府県競技団体 地域ブロック関連(2025年度登録、表彰など)

・北海道 アイアンマンジャパンみなみ北海道報告

・東京 海の森報告

・北信越 ウィンタートライアスロン開催準備の共有

・東海 静岡県協会と日本赤十字社静岡県支部のパートナーシップ締結

・近畿 滋賀国スポリハ報告と御礼

・中国 JLAの認定講習会

・四国 ひわさうみがめ、今治伯方島、開催報告

- ・九州 来週佐賀国スポ、WC宮崎、来シーズン五島長崎の準備状況
- ・沖縄 伊是名88、おきなわKIN、来シーズン石垣島、宮古島の準備状況、新規大会：2025年2月～3月にアクアスロン3連戦を予定
- ＊東北・関東は理事退席のため報告なし

報告事項4) 専門委員会関連

- ・技術委員会 今シーズンは現時点で大きな事故なく、大会運営の皆様への感謝
- ・コーチ委員会・指導者養成委員会・情報戦略医科学委員会
11月18日（月）コーチングシンポジウム開催概要
- ・事業企画委員会 アクアスロン大会の開催推進、愛知県開催大会のT0の声掛けに係る選手意見への対応共有

報告事項-5) 組織関連（JOCアスリート委員の推薦）

- ・立候補権を有する選手（2020東京大会又は2024パリ大会代表選手）（高橋侑子、岸本新菜、ニナー賢治、小田倉真）の中から立候補意志を確認中

〔7〕次回会議日程

第3回定時理事会

2024年12月13日（金）13時～18時 東京都内